

オーディオ実験室収載

ZANDEN Model 120 の展開(21) —ベートーヴェン全集を聴く(21)—

1. 始めに

前報(20)に引き続き、ベートーヴェン全集を集中的に聴いていきます。

2. Model 120 設定条件の試聴方法

カートリッジは、My Sonic Signature Gold で、接続に関しては、ZANDEN Model 120 の活用(33)同様、下記のとおりとします。すなわち、アンバランス／バランス変換プラグを用いて BACU-2000 経由で Model120 にバランス入力し、アンプは Langivin 6V6pp を使用しています。

今回も P&G のフェーダーに替えてパッシブアテネーターの TruPhase を使用し、RCA 入力→RCA 出力とします。なお、アナログアキュライザーアクティブ AACU-1000 は TruPhase の入力側と出力側にもセットします。

LINN LP-12→(フォノケーブル)→(アンバランス／バランス変換プラグ)→
(BACU-2000) →Model120(バランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランスケーブル)→(AACU-1000)→TruPhase→(AACU-1000)→(アンバランスケーブル)→Langivin 6V6pp

なお、LINN LP-12 の再構成(22)で報告しましたように LP-12 の電源を交換し、外付けとしています。

音源としては、ベートーヴェンの弦楽 3 重奏を聴いていきます。これらは、Y 氏から頂戴したものです。

ドイツグラモフォン MG9534 弦楽 3 重奏曲変ホ長調

フランコ・グッリ (Vn)

ブルーノ・ジェランナ (Vi)

ジャチント・カラミア (Vc)



3. Model 120 設定条件の試聴結果

Model 120 の設定は、前報(1)と同じく、TELDEC の逆相、第 4 時定数は Mid で聴いていきます。

盤質がよくないので、クリーニングしましたが、まだノイズが残っていました。

この弦楽 3 重奏曲変ホ長調は、中期の弦楽 4 重奏曲などと違い、明るく軽快な曲です。

アナログアキュライザーを TruPhase の入力側と出力側にセットしたことにより、盤質の悪さを補って、この曲の細かい三つの弦のニュアンスがよく表現できるようになりました。

4. まとめ

アナログアキュライザーを TruPhase の入力側と出力側にセットしたことにより、この弦楽 3 重奏曲変ホ長調のニュアンスがよく表現できるようになりました。

以上